

有朋自遠方来

大和文華館14年の歴史の間に、海外からはるばる訪れた方々をこの欄でもしばしば御紹介してきましたが、今日はドイツからのお客様とそのお仲間に登場していただくことにしました。

ローター・レダローゼさん（写真右）はハイデルベルグ大学美術史研究所に所属される哲学博士です。現在、東京大学東洋文化研究所の연구원として来日され、中国絵画の研究のために当館をしばしば訪れます。この写真は去る2月に再三来館された時のものですが、

同様に中国絵画を研究されているプリンストン大学（アメリカ、ニュージャージー州）のアルフレダ・J・ミュアックさん（写真中）、デビッド・A・センサボーさん（写真左）と御一緒でした。ハイデルベルグ大学美術史研究所の方々には他にも、アルムプラスター女史、プリンカー氏クライン女史など度々来館され、今では、研究を通じて、当館の永年の友ともいべき人々となっています。



季刊 美のたより No.27

昭和49年 3月10日

発行 大和文華館